

データサイエンス研究科博士前期課程

令和8年度以降実施分 主な変更点

1. 課程・定員

データサイエンス研究科修士課程は博士後期課程の設置に伴い、博士前期課程へ課程変更を行います。なお、博士前期課程の定員は30名です。

※設置計画は変更となる可能性があります。

2. データサイエンス研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー

データサイエンス研究科のアドミッション・ポリシーが変更となります。博士前期課程のアドミッション・ポリシーは以下の通りです。

<求める学生像>

データサイエンス分野において、統計学および情報工学を基盤とする専門知識を修得し、データを活用した課題設定および分析を通じて、新たな知見や価値の創出に主体的に取り組もうとする意欲を有する人を求める。

また、学術的探究心を有し、理論と実証の両面から研究課題に取り組む意欲を持つとともに、将来的に博士後期課程への進学や企業等における研究開発に携わることを志向する人材を歓迎する。

<修得しておくべき知識等の内容・水準>

統計学、情報工学等、データ分析に関連する分野において、大学学部レベルの基礎的な知識および技術を身につけていること、または、これらに関連する実務経験を有していることが求められる。

さらに、研究課題に対してデータに基づく分析的アプローチを行う意欲を有していること、ならびに学術論文や専門的資料を理解し、研究成果を発信するために必要な英語能力およびコミュニケーション能力を修得していることが求められる。

<選抜方法>

口頭試問および出願書類により、データサイエンス分野に関する基礎的な知識と技術、研究に対する意欲および目的意識、ならびに英語能力およびコミュニケーション能力を総合的に評価し、選考を行う。

3. 選抜区分

選抜区分として推薦型選抜・一般選抜を設けていますが、推薦型選抜の中に新たにデータサイエンス学部学内推薦を設けます。本学データサイエンス学部卒業見込みの学生が対象です。

【出願資格】

学内推薦有資格者と認められた者で、合格した場合は必ず本研究科に入学することを確約する者

4. 出願書類

- ①推薦型選抜において出願書類として英語論文や英語での発表実績を任意で提出することができますが、日本語による論文・発表実績も任意の出願書類として提出可能になります。
- ②日本語を母語としない受験者におかれましては、英語外部試験の成績もしくは日本語能力試験の成績いずれかの提出が必須となります。

<変更後>

	英語外部試験	日本語能力試験
推薦型選抜	任意 *日本語を母語としない受験者は英語外部試験もしくは日本語能力試験のいずれか必須	
一般選抜	必須	任意